

効果検証結果

滋賀県東北部工業技術センター、株式会社ガラステクノシナジーおよびマスダ商事株式会社はこのたび、自動車用プラスチックの1つであり、滋賀県内企業が全国一のシェアを持っている合わせガラスのガラスの中間膜について、新たなリサイクル技術の開発に成功しました。

この技術で作製した材料の特長は、消臭剤など機能性物質を長期間表面からゆっくりと染み出させることです。そのため、スプレーに比べて機能性を長期間維持することができ、生活の質（QOL）向上に寄与することができます。

実際に、開発材料を、介護施設や災害時の仮設トイレなど、臭いが問題となる場面で活用することを想定し、香料入り市販消臭剤を機能性添加剤として使用した材料の効果検証を以下のとおり実施し、消臭効果やその継続時間に優れた材料であることを実証できました。



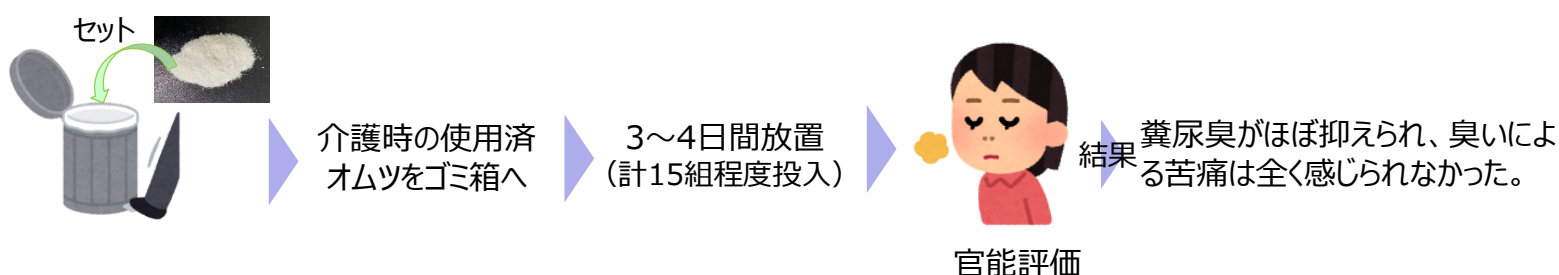
● 実験1（紙おむつ）



● 実験2（マスク）



● 実験3（ゴミ箱）



いずれも明確な効果あり

開発品を利用することで気になる臭いを大幅に抑制できることがわかりました！